合気道新聞

毎月10日発行

発行所
東京都新宿区若松町17番18号（郵便番号162 0056）
公益財団法人　合気会
（合気道本部道場）
編集人　可児　晋
電　話03（3203）9236（代表）
ＦＡＸ03（3204）8145

購読料
１ヵ年　2,500円
郵便振替
00150－0－49527番
ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

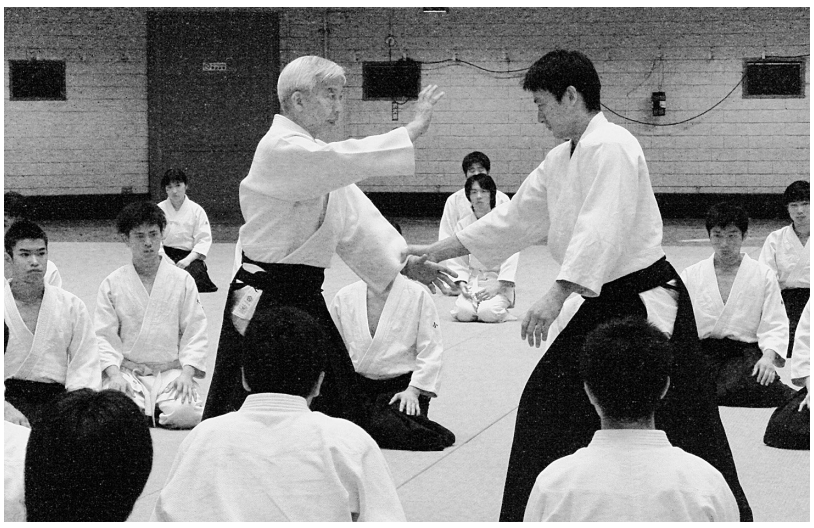
関東学連 新入生講習会

17校から139名が参加

平成28年度関東学生合気道連盟新入生講習会は、６月13日（月）午後２時から４時まで植芝守央道主招いて東京都千代田区の日本武道館において行われ、17校から139名の参加者が集まった。

講習会の中で、道主はまず立ち方や座り方、そして入身、転換といった基本の体捌きを指導され、その後、植芝充央本部道場長が受身を指導された。続いて道主は片手取り四方投げ、正面打ち第一教、交差取り入身投げなどの基本技の指導をとおして学生たちに基本の重要性を説明した。

参加した学生は真剣な眼差しで道主の技を見つめ、少しでも多くのことを吸収しようとする姿勢が感じ取れた。講習会が終了に近づくと道主は合気道の歴史について触れられ講習会は締めくくられた。（関東学生合気道連盟委員長　仁田原広典）


道主による丁寧な指導

道主がフランス講習会

FFABの招聘で

６月２日より９日まで、植芝守央合気道道主は、ＦＦＡＢの主催する講習会に招聘され渡仏された。

３日、田村師範が建てられた修明館を訪問。道場の様子や過去の資料を拝見し、田村師範を偲んだ。その後ＦＦＡＢ役員との会議が設けられ、道主を囲みＦＦＡＢの現状や今後の課題等が報告された。

４、５日と講習会が開催され、マルセイユ近くのペッテュイ市にあるスポーツセンター体育館にて、ヨーロッパを中心に世界各国より12か国、１２００名が参集。２日間で１時間から２時間の講習が６回行われ、植芝道主とＦＦＡＢ指導者が指導。道主は４日午前と午後、５日午前に２時間指導された。

４日午前は基本的な打ち技、掴み技を中心に入身・転換・転身の体捌きの確認と、体捌きと呼吸法が全ての技の根幹となることを指導。

４日午後は、諸手取りを中心に、体捌きと呼吸法の使い方を確認。会場の至る所で見取りを行い、多くの参加者の近くで細かな注意点を指導された。講習会の後には、ペッテュイ市のペレンク・ロジェ市長より「経済成長により、この町にも公共の建物が増え、スポーツの振興が盛んになりました。地域を中心にした行事と同様に、この様な国際的なイベントにも積極的に取り組みたいと思います。道主におかれましては、日本より遠路お越しいただきありがとうございます。多くの合気道愛好家が集まったことに驚くとともに皆様の訪問と滞在を、市民を代表してお礼申し上げます」と挨拶があった。夜には懇親会が開かれ、３００名以上が参加。在マルセイユ日本国総領事館より池崎保総領事と武田充副領事が来場、挨拶を行った。懇親会の開会に際して、道主より「この度はＦＦＡＢ主催の講習会にお招きいただきありがとうございます。田村師範が52年前に渡仏され合気道を広め、その流れが今日のフランスの合気道の礎になっていることを感じております。田村師範が残されたお教えに従うとともに、今後も合気会と力を合わせ、合気道の大きな輪を作って参りましょう」と挨拶された。

５日午前の講習会は、横面打ちと後ろ両手取りで転身の捌きを重点的に指導された。打ち技も掴み技も同じ体捌きを用いて技が行えることを強調。講習会の最後に「本講習会での稽古を参考にしていただき、日々の稽古をしっかり行ってください」と締め括った。

５日の昼食会にはＩＯＣの現地担当責任者であるイヴァン・コステ・エマニュエル会長とフランス参議員でプレサントパラード市の市長を務めているシオット氏が臨席し、本講習会の盛会と道主の来仏を歓迎した。午後には田村師範の墓参りに行き、墓前で道主は本講習会の報告をされた。

また、７日には地元ローカルテレビ局が講習会の様子を放送した。

６日パリへ移動し、セーヌ川の増水やそれに伴う市内の視察等を、８日ＣＤＧ空港より帰路についた。

気魄に満ちた見取り

600畳の会場に1200名が参集

道　歌

世の初め
降し給ひし
璽鏡剣
国を建ます
神の御心

月窓寺道場40周年

合気道月窓寺道場（村尾泰隆道場長）の創立40周年を祝う記念行事が６月12日、東京都武蔵野市吉祥寺本町の同道場に植芝守央道主をお迎えし、道場生や交流のある各道場からの招待者ら計２５０人余りが出席して開かれた。

月窓寺道場は１９７６年６月、曹洞宗月窓寺の教化活動の一つとして、多田宏・合気会本部師範を師範として発足。当初は村尾昭賢前住職（現東堂）の晋山式（住職就任式）で使用したプレハブの建物を使っていたが、79年に現在の道場が完成した。

午後１時から記念稽古。多田師範の指導はいつもように呼吸法から始まり、基本技を中心に熱気のある稽古が繰り広げられた。多田師範の記念演武に続いて、師範の姪で舞踊家の花柳美輝風さんが祝儀舞「荒城の月」を披露した。

祝賀会は４時半に始まり、植芝守央道主が「この素晴らしい合気道を良い形で次の世代につないでいくことを念頭に、日々の稽古を大切に歩んでいただきたい」と祝辞。現住職の泰隆道場長が「この道場がスタートしたとき、私は７歳でした。物事がつながり、大きな流れになって、めでたく40周年を迎えることができました」とあいさつした。

多田師範は40数年前の昭賢前住職との出会いを感慨深く振り返ったあと、「植芝盛平先生が『合気道は生活のなかで活かされたとき、本当の合気道になる』とおっしゃっているが、これからも現代に活きる武道として、みんなで力を合わせて、しっかり稽古をしてゆきましょう」と話した。

坪井威樹師範代の発声で乾杯し、一同和やかに歓談。このあとイタリア人の道場出身者で、現在マニラに住むカパンネリ・ジョヴァンニさんが「初めて月窓寺道場に来たとき、私は寂しい留学生の一人でしたが、道場に満ち溢れる暖かさに包まれて幸せな気持ちになりました。この合気道ファミリーの暖かさは、外国で暮らしているときも平和と調和と愛の源になっている。これからも月窓寺道場ファミリーの使者として、友好のメッセージを伝えていきたい」とスピーチし、祝賀気分を盛り上げた。（月窓寺道場・後藤喜一）

熱のこもった多田師範の指導

全日本少年少女合気道錬成大会

平成二十八年度全日本少年少女武道（合気道）錬成大会が、七月十七日（日）午前十一時から、東京・千代田区の日本武道館で開催される。

全国の小・中学生を対象に基本錬成を主眼とし、合気道の正しい普及並びに心身の錬磨と相互の親睦を図り、我が国の将来を担う青少年の健全なる育成を目的としている。

錬成内容は、基本錬成（基本技の稽古）、演武錬成（各団体ごと二分間の自由演武）。

入身転換

参議院選挙は十日に投開票が行われるが、如何なる結果になろうか。アベノミクスの是非が問われる。更に、今月は舛添知事の辞職に伴う都知事選挙が行われる。自らを律し、公の為に奉仕する覚悟を持った人に立候補してもらいたいものだ。

ところで、先月、英国では、国民投票が行われＥＵ離脱が選択された。世界中に衝撃を与え、日本でも株価が暴落し、急激な円高になった。移民流入に反対する人々が離脱に票を投じたようだ。

そもそも、ＥＵ（欧州連合）の前進であるＥＥＣ（欧州共同体）加盟は英国にとって悲願であった。１９６０年代、加盟への試みはことごとくフランスのドゴール大統領によって拒否されていた。英国が加盟出来たのは１９７３年である。当時、英国に在住していたが、交渉に当たったヒース首相が「加盟は英国に繁栄をもたらすことになろう」と述べていたのが印象に残っている。

共通通貨ユーロには参加していない英国だが、その首都ロンドンはヨーロッパの金融センターである。長年にわたり加盟の恩恵に与り、豊かさを謳歌して来たかと思う。多くの日系企業がヨーロッパへの玄関口として拠点を設けている。

労働者の移動の自由の原則で、ＥＵ域内から移民流入は続いていたが、一方で人口増に伴う経済成長をもたらしていた。英国は元々、労働力として旧植民地からの移民を長年受け入れていた。人種的多様性を許容する多民族国家ともいえる。その英国での投票結果は意外に感じたが、今や、28ヶ国に拡大したＥＵでは域内先進国への一方的かつ急激な移民流入の増大が深刻な問題となっているようだ。（可児　晋）

山形大学50周年
記念演武大会開催

山形大学合気道部創立50周年記念演武大会兼第47回山形県合気道演武大会・講習会が合気道道主植芝守央先生をお招きして、６月18日、19日の両日、山形県総合運動公園武道館にて演武者約１７０名、観客約70名、総勢２４０名で開催されました。

開会式では主催者側として、山形大学合気道部師範、山形県合気道連盟の船越光雄会長より白田先生のお言葉「合気道は人をささえる道、心身鍛錬の道」と、御教えの一つ「稽古産新」が山形大学合気道部の伝統として残されていることを話され、山形大学合気道部ＯＢ会の中村正明会長は、山形大学合気道部が半世紀を迎えることが出来たことに慶賀しました。続いて植芝道主は「和合の精神」と「日々の稽古」を大切にすると同時に先達が築き上げてこられたこれまでの伝統を後進へ繋いでいただき、そして、山形大学合気道部が山形県合気道連盟と共に発展されることを願っておられる旨のお祝いのお言葉をいただきました。

来賓として、山形県議会副議長の舩山現人様からは「現代は正に合気道の和合の精神を必要としている」その表れの一つとして中学校の体育の教科に武道が必修となり、合気道を取り入れる中学校が年々増えつつあること、技のみならず心を伝えてほしいという期待のお言葉もありました。

山形大学合気道部顧問として約30年間、ご指導いただきました大川健嗣先生のメッセージ（白田先生が熱く語っておられた含意は森羅万象すべからく「気」があり、演武においてはもとより相手の「気」を察知し、お互いの「気」が見事に合えば「平和」をもたらすこと）を、山形大学合気道部６代主将の高橋が代読しました。

演武の１部は子ども教室、高校生、山形県合気道連盟演武。２部は山形大学学生演武、東北学生合気道連盟演武、山形大学合気道部ＯＢ・ＯＧ演武。そして合気道道主植芝守央先生による総合演武に一同感銘を受けました。

山形大学合気道部創立50周年祝賀会では、合気道道主植芝守央先生、来賓として山形大学合気道部2代顧問大川健嗣先生よりご祝辞を賜り、山形大学合気道部顧問崎山博史先生より乾杯の音頭をいただきました。邂逅を悦び歓談を深めました。

翌19日は2時間程、同武道館にて植芝道主より合気道の美しさ、素晴らしさを、基本技を通して懇切丁寧に熱くご指導賜りました。まだ合気道を始めて2か月足らずの初心者もおりましたが、わかりやすいご指導に感銘を受けました。道主先生よりご指導いただいたことを今後の稽古の目標として精進して行くことを誓い合いました。

この2日間における道主先生のご指導に、一同深い感謝の念を禁じえませんでした。（山形大学合気道部創立50周年記念演武大会実行委員長　櫻井常晴）

道主の演武

香川で指導者研修会

香川県（高松市）地域社会合気道指導者研修会は６月11日、12日、香川県立武道館に於いて開催され、中央講師として磯山博公益財団法人合気会本部師範と櫻田広司取手合気会指導員にお越し戴いた。

研修会には、香川県合気道連盟会員をはじめ、県内外から約60名が参加し、全日程に亘って磯山師範からの指導を受けた。

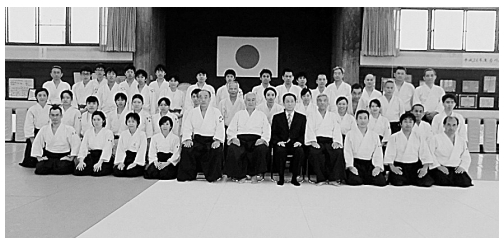
初日は午前、午後とも2時間、2日目は午前2時間、午後1時間半、計7時間半の稽古が実施された。初日、午前の稽古は体の変向から始まり、呼吸法、一教から三教の基本技(抑え技)。午後は四教、五教、回転投げ及び四方投げを、片手取り（逆半身、相半身片手取り）、両手取り、片手両手持ち、胸取り等種々の攻撃への対応。

２日目の午前は、体の変向、小手返し、入り身投げの後、後襟取り、後両手取り等の後ろからの攻撃に対する抑え技や投げ技。午後は、武器を扱う際の礼法(神前への礼及びお互いの礼)、搬送法、短刀取りと太刀の基本的な素振り法。

全日程を通して、姿勢、目付、気を出すこと、親指の効果的な使い方、肘を抑える位置、軸足と足の運び方、攻撃の際の使用しない方の手の位置等々、それぞれの技に関連付けて分かりやすく説明された。

また、合気道は武道であり、特に「１対多数」の武道であることを常に意識することが肝要であるとの話もあり、回数稽古も多く、体力的にも厳しい稽古であったが、皆各々に得るものが大きい研修会であった。

最後に磯山師範から、「爽やカサ」、「朗らカサ」、「大らカサ」の３本の「カサ」を参加者全員へプレゼントがあり、今後、この「カサ」を大きく開いて、合気道のみならず実生活にも活かし、争いのない平和な世界を目指し一層精進することを誓って解散した。（香川県合気道連盟理事長　西原浩）


磯山師範を囲んで

和歌山で地域社会指導者研修会

和歌山県（和歌山市）地域社会指導者研修会は、６月25、26日に栗林孝典本部道場指導部師範、立木幸敏国際武道大学体育学部武道学科教授、日野皓正本部道場指導部指導員を中央講師として招聘し、和歌山県立武道館にて開催された。２日間で和歌山県連盟傘下の20団体と和歌山大学より延べ３９０名の参加者に加え、和歌山市立東洋中学校と同市立本宮中学校より５名の合気道未経験の保健体育科教員が参加した。

25日、講習会に先立って行われた開会式では馬頭哲弥和歌山県立公立武道館協議会会長より主催者挨拶があった。また、仁坂吉伸和歌山県知事と尾花正哲和歌山市長からの祝辞が代読された。講師を代表して栗林師範と立木教授より挨拶があった。栗林師範は「昨年は国体の開催、おめでとうございます。歴史ある和歌山県で更に合気道の盛り上がりを感じております。今回の講習会を1つの機に県内の皆様の交流が深められますとともに、益々のご発展を祈念申し上げます」と挨拶。

講習は25日午前に栗林師範の基本技の指導が1時間行われた。単独での受身の取り方の確認と片手取りを中心に、全身をくまなく使い結びを大切にすることを指導。午後は立木教授の熱の中学校武道に関する講習が1時間行われ、小手返しと第1教の指導法を提示。25日の最後に栗林師範による指導が1時間行われた。

栗林師範は諸手取りと正面打ちを中心に、取りと受けの双方向からお互いを意識して稽古するよう指導。26日午前、立木教授による頭部外傷（脳しんとう）の安全講習が1時間半行われ、その危険性と安全への配慮を喚起された。午後は日野指導員の中学校武道に関する講習が1時間行われ、段階的な受身の指導方法を提示。続いて栗林師範による指導が1時間半行われた。栗林師範は両手取りを中心に、柔軟に動くことを指導。特に受身では、動作を決めて固まってしまわないよう強調された。講習会の最後に、2日間の総括として栗林師範による演武で締め括られた。

閉会式では参加者に修了証が授与され、和歌山県では初めての、安全指導と中学校武道必修化を含めた研修会は無事に終了した。

栗林師範の三教抑えの指導

熊本地震義援金の御礼

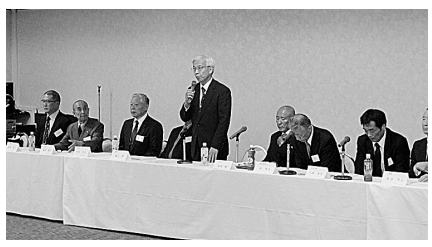
熊本地震義援金募集活動を4月18日より5月31日までの間行って参りました。

第54回全日本演武大会での義援金359、828円、合気道本部道場設置募金箱および合気会からの義援金合計額３４０、１７２円の総額７００、０００円6月1日、3日付けで日本赤十字社へ全額寄付致しました。

皆様からの温かいご支援とご協力を頂きまして誠に有難うございました。

心より御礼申し上げます。

被災された皆様方にはお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りしております。（公益財団法人　合気会）


挨拶をする植芝道主

全日本連盟理事会

平成27年度第3回全日本合気道連盟理事会、平成28年度第1回全日本合気道連盟理事会と平成28年度全日本合気道連盟定時評議員会が平成28年5月27日、東京神田一ツ橋の日本教育会館9階喜山倶楽にて執り行われた。

14時から行われた平成27年度第3回理事会、平成28年度第1回理事会では、尾﨑晌理事長が議長となり、平成27年度事業報告、平成27年度会計決算報告、監査報告が行われ、続いて平成28年度事業計画案、平成28年度予算案が、議長並びに常任理事より説明があり、審議を経て議決された。

15時半から植芝守央道主をお迎えして、評議員会が行われた。はじめに道主より「本日はお集まりいただきまして誠に有難うございます。連盟の役目はお互いを尊重し合って地域それぞれが活動し歩んでいく事だと思います。この流れを大切にして各地域で活動し歩んでいただきたいと思いますので、これまでと変わらず情熱をもって連盟の活動に尽力していただきたいと思っております」とお言葉をいただいた。

続いて尾﨑晌理事長が議長となり議長並びに常任理事から議題について説明があり、出席した評議員の承認を得た。

また、本年度は役員改選が行われ武田義信理事、竹中日出雄理事と石原克博監事、飯島悦男監事が勇退した。代わって石原克博氏、五味田聖二氏が理事に、五十嵐和男氏、荒井宏介氏が監事に就任した。

平成28年度からの新役員が以下のように決定した。

【新役員】（敬称略）

▽理事長＝尾﨑晌▽常任理事＝林典夫、宮本鶴蔵、小林幸光▽理事＝菅沼守人、中村克也、嶋本勝行、窪田育弘、堀井悦二、船越光雄、白川勝敏、藤井幸一、藤城清次郎、堀田武治、石原克博、五味田聖二▽監事＝五十嵐和男、荒井宏介▽顧問＝磯山博（順不動）

江戸川区連

春季区民体育大会の一環として「江戸川区合気道連盟第49回合気道大会・講習会」が開催された。開会式後、連盟及び協賛団体演武に続き、伊藤眞本部道場指導部師範による講習会が、10団体90名の参加を得て開催された。

これまでと違った技の入り方に加え、身体の軸にぶれのない自然体の中にパワー・動きを感じ、参加者にとってこれからの目標と同時に刺激になったように思う。（江戸川区合気道連盟理事　湯本敬三）

合気道探求52号7月20日発売
・道主対談　クリストファー遥盟
・合気道ゆかりの地をめぐる　北海道白滝
・第54回全日本合気道演武大会
・新連載・誌上講習会　転換から逆半身片手取り四方投げ（裏）
・稽古覚え書　栗林孝典・桂田英路
・偉人たちの師　貝塚茂樹
・英語で合気道　斉藤兆史
・合気道仲間のお仕事拝見！　仏師・真野明日人

暑中お見舞い申し上げます

全日本合気道連盟
理事長　尾崎　晌
常任理事　林　典夫
同　宮本鶴蔵
同　小林幸光
他一同

国際合気道連盟
理事長　ピーター・ゴールズベリ
事務総長　井沢　敬

東京都合気道連盟

全国学生合気道連盟

北海道合気道連盟
会長　藤井幸一
理事長　南雲州治
（他会員一同）

オホーツク中湧別道場
道場長　尾崎　晌　指導部長　松田茂満
道場長代行　尾崎かほる　事務局長　本田淑子
〒〇九九―六三三六
北海道紋別郡湧別町中湧別北町二三三
電話・FAX　〇一五八―二―二四二八

東北合気道連盟
会長　日高　浩（岩手県）
理事長　船越光雄（山形県）
副会長　追分拓哉（福島県）
同　横山清一（秋田県）
同　白川勝敏（宮城県）
同　田辺孝美（青森県）

宮城県合気道連盟
会長　白川勝敏
理事長　角田　稔
（事務局）仙台市泉区大沢二―六―九　渡邊方
senshin@s3.dion.ne.jp

長岡市合気会
会長　渡辺修一
会員一同

群馬県合気道連盟
代表　荒井俊幸

合気道山徳道場
荒井俊幸

茨城県合気道連盟
会長　常井洋治
理事長　飯島悦男　常任理事　瀬尾　寿
常任理事　稲垣繁實　同　桑原　隆
同　渡引好文　理事・監事一同

水戸合気会
水戸市合気道スポーツ少年団
会長・団長　飯島悦男
会員・団員一同

合氣道修練道場自然館
館長　吾妻正義
〒三三五―〇一三五
埼玉県狭山市根岸一―一七―六
電話　〇四―二九五三―九六七四

入間市合気道連盟
会長　関戸章弘
入間幸武館道場
館長　中島正吉

蓮田合気会

合気道大宮道場
会員一同

大宮合気道倶楽部
会員一同

浦和合気会
会長　林　昭男

A＆P合気道石垣道場
道場長　石垣晴夫
〒三三〇―〇〇六一
さいたま市浦和区常盤九―八―一五　松本ビル三階
電話・FAX　〇四八―八二二―〇六五〇

草加合氣道研究会
会長　中道一也
副会長　宮澤義治
http://soukaaikiken.webnode.jp/

新所沢合氣道同好会
師範　針すなお
会長　山上三一
〒三五九―一一一一
埼玉県所沢市緑町一―六―一七―五〇二
電話　〇四―二九―二四―〇八八一
FAX　〇四―二九二八―八一六七

千葉県合気道連盟
会長　髙橋嗣慶
理事長　吉川（キチカワ）滋

合気道花見川道場
道場長　等々力敏夫
〒二六二―〇〇四六
千葉市花見川区花見川六―一〇―二〇一
電話　〇四三―二五八―五七二三

野田合気会
会長　山中紀光
会員一同

柏合氣会
会員一同

北総合気会
代表　山田博信
会員一同

江戸川区合氣道連盟
理事長　藤城清次郎
理事・会員一同
事務局〒一三三―〇〇五六
東京都江戸川区南小岩二―二―一六
電話　〇三―三六七二―二二四六
FAX　〇三―三六七二―二二五六
E-mail：edogawaaikido@ymail.plala.or.jp

葛飾合気会
会長　田中満夫
〒一二三―〇〇五一
江戸川区北小岩四―二―一〇
電話　〇三―三六七二―二〇三四

合気道進藤道場
道場主　進藤芳子
〒一三六―〇〇七四　江東区東砂二丁目三番二号

合氣道明心会
会員一同

合気道鍬守道場
道場長　鍬守和徳
指導部長　松丸裕

中野区合気道連盟
中野区合気道会
会長　松本肇

祖師谷合気会
会長　中村文子
〒一五七―〇〇五三
東京都世田谷区砧六―二六―十
電話　〇三―三四一五―二四〇二
fumi3aiki.23@i.softbank.com

新宿合気会
会長　周参見紳次郎
会員一同

荒川合気会
会長　酒井光雄

城南合氣会
会長　塩崎省三

暑中お見舞い申し上げます

中央区合気会
会長　糸田寛人

大田区合気道会
会長　尾﨑晌
〒一四三―〇〇二四　東京都大田区中央五―一八―一
電話　〇三―三七五五―二二五八

神奈川県合気道連盟
会長　松田良昭
理事長　武田義信
〒二四四―〇八〇五　横浜市戸塚区川上町四八六―七
電話　〇四五―八二四―一九二二

大和合気道クラブ一同

合気道青葉塾道場
本田靖生
土曜稽古会　木曜稽古会　日曜特別稽古会
事務局　〒二二五―〇〇二一　横浜市青葉区すすき野三―二―一　藤パークビル二階　青葉教育企画センター
電話　〇四五―九〇二―一八〇八
合気道青葉塾道場　検索

静岡県合気道連盟
理事長　石原克博

山梨県合気道連盟
理事長　若尾重廣
会員一同
事務局　〒四〇〇―〇〇六四　甲府市下飯田二―八―三―六〇二　土屋安勇理事方

富山合気会
代表　島恵司
〒九三八―〇〇一二　黒部市出島四四七
電話　〇七六五―五七―一二九四

岐阜県合気道連盟
一宮合気会岐阜道場
理事長　汲田清造
〒五〇一―〇四三一　岐阜県本巣郡北方町北方一四五四
電話　〇五八―三二―〇三一九
FAX　〇五八―三二三―二二三四

愛知県合気道連盟
会員一同

尾張合気会
会長　滝本清三

大手前学院合気道教室
道場長　岩崎一基
〒四五五―〇〇四四　名古屋市港区築三町三―六
電話　〇五二―六五三―〇七四五

三重県合気道連盟
会長　杉田憲司
会員一同
〒五一四―〇〇二七　三重県津市大門十七―十二
電話　〇五九―二二八―三二四四

合気道四日市合気会
会長　畝原正典
外　会員一同

滋賀県合気道連盟
理事長　吉本邦夫
副理事長　平野誠
同　清水正男
（事務局）〒五二二―〇〇五三　彦根市大藪町五一―一五四　吉本方　山本隆

京都府合気道連盟
会長　坂根弘基
理事長　前川信雄

奈良県合気道連盟
理事長　窪田育弘
副理事長　阿部豊雲
専務理事　藪内啓壽
理事一同

大阪府合気道連盟
会長　嶋本勝行
副会長　阿部豊雲
理事長　木村二郎
役員一同

合氣道大阪武育会
木村二郎
藪内啓壽
上村和康

公益財団法人
合氣道大阪道友会
会長　芋野光弘

恒心道場
大坂恒

合気道熊野塾
道場長　須川勉
和歌山県新宮市元鍛冶町一―五―一

神戸せいぶ館
道場長　濱崎正司
館長　中尾眞吾

相生會
堀井悦二

岡山県合気道連盟
合気道正武会
主席師範　壬生川堯一
門下生一同

鳥取県合気道連盟
松浦一
中川進夫
濱路政朝
倉庸一

公益財団法人
大阪合氣会
代表理事　柳澤健二

広島県合気道連盟
会長　山本治朗
副会長　北平雅一

山口県合気道連盟
会長　中村克也
外　会員一同

愛媛県合気道連盟
会長　橋田一美
理事長　松田正司

合気道合心館
館長　谷本敏夫
〒七九一―八〇二三　松山市美沢二―一―二二
電話・FAX　〇八九―九二三―四三三三
http://aishinkan.sakura.ne.jp/

合気道敷島塾
会長　工藤泰助
〒七七三―〇〇一五　徳島県小松島市中田町池ノ内二十三―三
電話　〇八八五―三二―二二八〇

高松合気会
会長　西原浩
会員一同
〒七六〇―〇〇一三　香川県高松市扇町一―二十三―三十八
電話・FAX　〇八七―八二二―八七〇四

高知合気会
会長　岩目建紀
〒七八三―〇〇二九　高知県南国市西山八九五
電話　〇八八―八六二―〇八三四

熊本合気会
水前寺道場長　高本和宜
合志道場長　多田広明

天之武産合気至聖館
熊本道場
道場長　宮下和道
専任師範　木村義雄
師範代表　田島勝徳

天行康
合気道祥平塾
菅沼守人

公益財団法人
合気会　茨城支部道場
道場長　植芝充央
相談役　磯山博
指導部　磯山俊博
顧問　藤枝一弘
同　永島義道
総務部長　稲垣繁實
同　平澤憲次
指導部　渡引好文
同　秋本英裕
同　大和田幸正
同　川上俊明

公益財団法人
合気会
合気道本部道場

チェコ協会20周年

チェコ合気道協会（以下：CAA）20周年記念行事は、平成28年6月17日から19日に、チェコのプラハにて、植芝充央合気道本部道場長を招き、開催された。

植芝道場長による指導稽古は、17日は午後2時間、18日の午後、19日の午前に1時間ずつ、イェデナーツトカスポーツホールにて行われ、参加者は約350名となった。

国外からは、スロバキア、イタリア、オーストリア、オランダ、スイス、ドイツ、ベルギー、ポーランド、ルーマニア、日本からも駆け付けた。植芝道場長は、基本的な技を中心に3日間の稽古を展開した。

18日はミロスラフ・コディムCAA会長、19日にはダニエル・ベッターCAA審査委員会長がそれぞれ1時間ずつ指導稽古を行い、また、CAAに縁のある浅井勝昭師範（ドイツ）が18日の午前・午後1時間ずつ稽古指導を行った。

また18日の午後、稽古の後に、同会場にて演武大会が行われた。演武大会では少年部、級取得者演武、初・弐段、女性演武、参段、四段から約130名、そしてコディム師範、ダニエル師範の演武、CAA発足当初から親身に協力をしていたギルド・メッゾ師範（スイス合気会）による賛助演武があり、大会の最後に、植芝道場長による総合演武が行われ、大会は無事に閉会した。

演武大会終了後、会場を移し、同市内レストランにて、植芝道場長を囲んでの懇親会が行われた。

植芝道場長のチェコ出張では、CAAの若手指導者の育成や新入会者獲得も含め、充実させ、さらに国内外問わず合気道の輪を大きくする様期待される。

植芝道場長の入身投げ

10カ国から350人が参加

スペイン・ムルシアで講習会

私（栗林）は6月2日から7日まで、スペイン合気会傘下の道場回転（ペドロ・セルマ五段）主催講習会の為、スペイン南東部の町ムルシアを訪問した。

一昨年に引き続き2度目のムルシアでの講習会には、マドリッドやバルセロナ、グラナダ、セビリヤなどの大都市からは勿論、スペイン南端カディスからも参加者が有り、ラテン人らしい賑やかな歓迎を受けた。更に、遠くウクライナから駆けつけた者もあり、アンダルシア地方の強い日差し同様に、3日間、計4回の稽古に約70名の参加者が熱い稽古を繰り広げた。

栗林師範の諸手取り

講習はムルシア郊外の体育館にあちこちから集めた畳を敷き詰めて行われ、講習会終了後は借り受けた道場に返却の為トラックで回っていた姿に、講習会を開催する苦労を改めて知らされると共に、このようにして本部道場との直接の結びつきを深めようとする主催者の姿勢に感謝の念が湧いた。

イベリア半島の合気道家達が真摯に合気道の修業に努める姿を見ることが出来、大変喜ばしく感じると共に今後も彼等が変わらずに稽古に取り組んでくれることを心から願った。（本部道場指導部師範　栗林孝典）

ラトビア講習会

私（金澤）は6月3日から5日まで、ラトビア合気道連盟の要請によりラトビアの首都リガで講習会の指導と昇段審査を行った。ラトビアでの指導は15年前と昨年に続き3回目になる。

ラトビア合気道連盟はボロージャ氏とサーシャ氏の二人が代表を務め、普段は二人それぞれ別々に活動しているが、ラトビアの合気道のため協力して連盟の活動を行っている。

講習会はリガ市内のオリンピックセンター内のホールに畳をひいた会場で行われ、ラトビアのほかロシアのモスクワ、バシュコルトスタンからの参加もあり、毎回約50名が稽古に参加した。

期間中計5回の稽古が行われ、基本技を通して取りと受けの体の使い方を中心に、特に足腰の使い方に焦点をあて指導を進めた。また最終日には昇段審査が行われ、初段2名が合格した。

今までボロージャ、サーシャ両氏がラトビアの合気道を牽引してきたが、彼らに続く若い世代の後進を育てていくことがこれからの重要な課題であると感じた。

（本部道場指導部師範　金澤　威）

マニラ講習会

私（藤巻）は6月17日から20日までフィリピンの合気道団体のFFA、AP、PAPA3団体共催の講習会指導のためフィリピンに派遣された。

講習は、マニラ郊外のロスバニオスにあるフィリピン大学のバスケットボールコートにて18、19の両日にわたりFFAから6道場、APから12道場、PAPAから2道場その他から6道場が加わり、延べ182名が参加した。

講習会の最後には昇段審査を行い、初段26名、弐段12名、参段6名、四段2名が合格した。

各団体とも中心となって働く人物が若い世代に移行しつつ有り白帯から六段まで と幅広い参加があったことに好印象を持った。（本部道場指導部師範　藤巻宏）

モスクワ講習会

私（桂田）は、6月3日から5日までロシア・ユース合気道フェデレーションの講習会の為モスクワを訪問した。

4日、子供クラス1時間の講習に70名が参加。普段より子供達が飽きずに稽古できていたとのこと。親御さんの反応も良かった様に思う。

その後大人の講習が、2時間2回行われ、ロシア合気会合気道連盟や、サンクトペテルスブルグの友好団体からも参加があり約90名が熱心に汗を流した。

翌5日は四段1名が審査を受け合格、その後2時間の稽古を行った。

5回目の訪問であるが毎年意図を汲んでくださって熱心に稽古をしてもらえるのが有難いことである。

特に、今回は調布合気会のご出身でモスクワに在住されている石井壮之介氏が通訳してくださり格段にやりやすかった次第である。

「言葉無しで全部表現できれば」という思いはあるが、何より皆さんが一生懸命稽古してくださったのが印象的である。（本部道場指導部師範　桂田英路）

シンガポール講習会

私（伊藤）は、6月9日から14日まで、シンガポールの誠道場・グルカ道場・正気塾の合同講習会に派遣され、講習会指導を行った。同講習会への派遣は2013年からで4回目となる。昨年同様、空港で誠・グルカ道場責任者のバーニー氏、奥さんのアリソンさん、正気塾のアウヨン氏が出迎えてくれた。翌日からグルカ道場で4回、誠道場、正気塾の合同稽古を4回それぞれ行い、3道場の合同審査を行った。グルカ警察はシンガポール特有のシステムで、多民族国家での民族対立の背景から、ネパール人を警察要員として長年にわたり〝輸入〟している。彼らはネパールで採用され、シンガポールでの定住はできず、45歳の定年と同時にネパールへ帰国しなくてはならない。その分シンガポール内での生活は優遇され、比較的多額の給与が与えられている。同警察の訓練として合気道が正式採用されており、グルカ道場では子弟も含めて100人程の会員がいる。彼らは不法入国者やテロ対応などの治安業務に携わっており、稽古が業務に直結する事もあって、内容は非常に充実している。誠道場・正気塾の稽古は、普段誠道場が稽古場としている柔道連盟道場で行われ、70名ほどが毎回参加した。既に4回目の派遣なので、知人も多く稽古も進めやすい。正気塾は大学で指導を行っているため、若い学生の参加が非常に多い。扇風機が熱風をかき回す中、熱心に稽古を行っていた。シンガポールはアジア各国からのアクセスが良い立地の為、インドネシア、アラブ首長国連邦、インド、ベトナムからの参加者もあった。それぞれの会員と夕食会が開催され、中華料理、シンガポール名物のチキンライス、ネパールの地酒など、変化にとんだ食事とお酒を楽しむことが出来た。9月の高崎国際大会での再会を楽しみにしつつ、チャンギ国際空港を後にした。（本部道場指導部師範　伊藤眞）

上海で巡回講習会

私（佐々木）は6月3日から7日まで中華人民共和国・上海市に滞在し、（公財）合気会主催で行われている定例のアジア巡回講習会で稽古と昇段審査を行った。

6月3日に羽田を出発、3時間弱で上海虹橋国際空港に到着した。空港では陳徳明氏（上海合気会）と野倉昌子氏（上海国際合氣道愛好会）らの出迎えを受けた。

同日夜は上海合気会の楊浦道場で稽古並びに昇段審査が行われた。稽古には同会の会員約40名が参加、年齢の若い会員が多く、活気に満ちた稽古を繰り広げていた。昇段審査では参段を2名、弐段を2名、そして初段を8名が受験、時折言語的な理由で意思疎通が上手くいかず戸惑った様子を見せることがあったが、皆総じて真剣な態度で臨み全員が合格した。

4日は上海国際合氣道愛好会のSCIS道場で午前午後にわたり稽古と昇段昇級審査が行われた。稽古には同会の会員だけでなく武漢、杭州、寧波、蘇州等からも参加があり、約100名が集まった。こちらも年齢の若い会員が多く、熱心に稽古を繰り広げていた。午後の稽古後に行われた昇級昇段審査では五級を16名、四級を2名、三級を6名、二級を1名、一級を3名、初段を6名、そして弐段を1名が受験した。こちらは五級を中心に級の受験が殆どであり、慣れない審査に緊張して動きが固くなる事が多々あったが、皆総じて真剣な態度で臨んでおり全員が合格した。

佐々木師範（前列中央）を囲んで

5日は上海国際合氣道愛好会の建国西路道場で午前午後にわたり稽古が行われた。参加者は4日と同様に約100名。審査が終わって緊張が解けた為か参加者達は前日に比べて大分動きの固さが取れ、明るい雰囲気の中で稽古を行うことが出来た。

6日夜は再び上海合気会の楊浦道場で稽古が行われ、月曜日の夜で皆仕事が忙しいということもあり、参加者数は3日に比べて半数の約20名であった。こちらも審査終わって緊張が解けた為か参加者達の表情も明るく、終始和やかな雰囲気の中で稽古が行われた。

今回は私にとって8年振りの上海訪問であったが、当時に比べ団体数が増えていた。8年前は陳徳明氏主催の上海合気会と野倉國良・昌子ご夫妻主催の上海国際合氣道愛好会の2団体のみであったが、現在は私が確認しただけで6団体である。これは同地の合気道が活発になってきたと言える一方で、今後は団体間の良好な協力関係を構築し強化していく必要性があると感じた。

最後になるが、今回の講習会にあたり、運営全般にご尽力下さった上海国際合氣道愛好会の野倉昌子氏に深く感謝の意を表したい。

（本部道場指導部師範　佐々木貞樹）

ベルギーのレクレール氏へ
日本から旭日章

この度ベルギーの合気道団体AAFのチーフインストラクターであるダニー・レクレール氏（7段・写真左）が、長年合気道普及に尽くしたその功績に対し、日本政府から旭日章を贈られる事になった。叙勲式は5月26日にブラッセルの日本大使館において行われ、同氏は「これは私個人の名誉ではなく合気道にとっての名誉です」と述べた。

各道場の昇段者

28年５月15日～
28年６月14日
（公財）合気会登録

【四段】
◆本部道場＝A.Fogelman◆長谷川道場＝福岡雅巳、酒井慎、赤間千秋◆合気道士道館＝古川由己◆小林道場＝D.Dinev◆A.K.I. ＝R.Castillo、L.Freire、A.Arobba、G.Alonso、J.Porter◆菅原総合武道研究所＝A.Ortiz◆大田区合気道会＝守屋陽一◆今治合気会＝片山元気◆奄美市合気道連盟＝山田正修、元田勉◆泉心塾＝丸山仁司、南野龍夫◆BRAZIL＝J.Mochizuki◆AUSTRIA＝D.Walpitscheker、L.Meyer◆IRAN＝H.Mozaffari、A.Pakzad、S.Shakeri、M.Vatannia、A.Feizabadi、S.Moradi◆BULGARIA＝V.Draganov◆RUSSIA＝V.Barinov、K.Gashkin、V.Kornev、A.Belyaev、A.Maliy、S.Sretenskaya◆BELGIUM＝J.Oostermeyer、G.Carleer、G.Bauwens、K.Mestdagh◆TURKEY＝T.Kilic◆ARGENTINA＝C.Baleani◆U.S.A. ＝桑原孝行、J.Gribben、N.Earhart、J.Lepore、A.Gentile、D.Hayes、D.Katz、B.Witthar、K.Pray、S.Cruz、P.Wyffels、A.Dale◆ARMENIA＝N.Shaikhiyev◆U.K. ＝A.Creamer、P.Finn◆POLAND＝P.Cedrowski、J.Leczycki◆SWITZERLAND＝J.Sauermann、S.Geloven◆FRANCE＝J.Berthe、G.Dietrich、P.Rabiarisoa、P.Soraya、M.Roio、M.Giardino◆韓国＝白侖成、尹埈桓◆UZBEKISTAN＝S.Khalmukhamedov

【参段】
◆尾張合気会＝布目眞司◆三重合気道研究会＝西山千裕◆長崎氣和会＝尼子祐輔◆谷神会＝大藤桂子、古澤巌、矢山利彦、高木一昌◆合気道武友会＝板垣隆司、下坂優子◆合気道士道館＝堤玲門◆順風会＝藤沢清一◆小林道場＝I.Dinev、M.Dineva◆A.K.I. ＝岩間保博、E.Arias、R.Rojas、J.Coderch、F.Sarmiento、G.Bowen◆神武館＝谷口一穂◆杉並合気会＝野田佳子◆菅原総合武道研究所＝M.Rodriguez◆大阪合気会＝村井徹◆日野合気会明翔＝竹本哲二◆池袋斉藤道場＝粕谷満里子、岡崎香子◆豊川合気会伊東道場＝佐竹良宣◆防衛省合気道連合会＝横山里志◆札幌合気道会＝福田真也◆目黒中央体育館合気道教室＝吉田元彦◆松江道場＝川上修平◆合気道瀬戸義塾＝二木理恵◆BRAZIL＝M.Maestri◆AUSTRIA＝R.Muehlegger、R.Kuehnel◆PORTUGAL＝L.Pereira、J.Caldeira◆SWEDEN＝K.Torell、C.Jansson◆GERMANY＝G.Unsinn、D.Khalaimov◆BULGARIA＝T.Gergov、H.Chobanov、Z.Valchev◆RUSSIA＝V.Sergeyev、E.Kostina◆FRANCE＝G.Dietrich、P.Rabiarisoa、M.Giardino◆HUNGARY＝A.Szvetek◆U.K. ＝J.Tyrell、A.Gilbert◆ARGENTINA＝L.Battistini、A.Yazyi◆SLOVENIA＝T.Pacnik、N.Grat◆BELGIUM＝K.Peeters、T.Carrein、S.Dupont◆TURKEY＝K.Celik、S.Yilmaz、M.Erturk、M.Ozkan、A.Ermaya、S.Erkin、H.Cengiz、N.Soner、H.Aytar、A.Erturk◆U.S.A. ＝M.Oyarzun、J.Madden、R.Villarreal、K.Robinson、C.Cunningham、A.Roehrig、J.Cervantes、T.Truong、M.Fliss、P.Gaucher、R.May、P.Mcdade、N.Ross、L.Kopczak、N.Dambrauskas、V.Fisher、J.Schutz、J.Ryan、A.Gurevich、W.Hague◆NETHERLANDS＝S.Mafait◆POLAND＝T.Koperek、A.Serafinski◆中国＝张忠平、徐晟◆韓国＝白敬民、金元喆◆SPAIN＝A.Caballero、A.Sandoval、G.Solis、M.Rende、I.Chicharro

【弐段】
◆尾張合気会＝照井啓佑◆輝隅塾＝大室健◆愛媛合気道会＝山本雄一朗、和田謙太、井手智子◆長崎氣和会＝喜多祐佳◆谷神会＝佐原光春◆群馬合気会＝嶋田一秀◆合心館谷本会＝森喜信◆合気道武友会＝海老沼茂、片岡勇、片岡妙◆合気道士道館＝松原大虎、畝本浅雄、間瀬憲一、秋山佳希、水野公平、相川拓海◆小林道場＝A.Velikov、G.Georgiev、J.Bojovic、M.Djuric、A.Rezepov Jr. 、I.Vavilov、V.Volik◆A.K.I. ＝杉本正毅、西村尚樹、D.Rey、E.Chung、J.Arditi、R.Claudet◆祥平塾＝岡田芳加、井上信久◆神武館＝川俣範幸◆菅原総合武道研究所＝J.Garcia、A.Romero◆心和会＝山田幸朗◆京都近江合気会＝見田渉、時枝奈々子◆日野合気会明翔＝齊藤翔◆池袋斉藤道場＝谷内哲朗、小川裕司、D.Hai◆麻布道場＝伊藤裕美子◆合気道瀬戸義塾＝加藤典子◆多治見道場＝中山篤司◆宮城大崎合気会＝只野俊幸、丸谷めぐみ◆明徳義塾高等学校合気道部＝デイン・グエン・ホン・ロン◆東海大学望星学塾＝長谷川雅子、船越節夫、長谷川葉月◆東京農工大学＝桜井晴子、渡辺啓太◆GERMANY＝M.Muehl、C.Bauer、F.Meyer◆TURKEY＝F.Bagirov、F.Yalav、M.Erkal、B.Gumushisar、O.Tasdan、S.Mentes、A.Dodangeh、C.Ozturk◆BRAZIL＝R.Duarte、F.Ura、A.Adelino 、B. Cintra◆PORTUGAL＝C.Carneiro◆U.K. ＝J.Wolff◆RUSSIA＝Y.Yevsyukova、I.Mazidov、A.Matveev、S.Kushnarev、A.Shatov、K.Buldakov、I.Sadovskiy、A.Auzhin、B.Kardash、A.Kiseleva、V.Kuznetsov◆HUNGARY＝F.Mihaly◆BULGARIA＝M.Popov◆FRANCE＝Y.Michalski、C.Chort、P.Manon、C.Sala、A.Valmassoni、L.Calvi、M.Giardino、E.Gast、M.Roncalli、S.Modesti、M.Rovelli、W.Manzoni、S.Bertocchi、R.Ferrari、R.Solito、E.Carradore、F.Ceresa、E.Tauira、C.Tauira、G.Dietrich、P.Rabiarisoa、F.Levan、G.Cronin◆SLOVENIA＝M.Pejic、M.Pirmansek◆BELGIUM＝E.Graef、M.Cotte◆POLAND＝R.Wrona、S.Charzynski、M.Wysocki◆SPAIN＝E.Busto、J.Trobajo、J.Rosell、J.Hernandez、C.Robles、D.Garcia、M.Salas、J.Santos、G.Solis、P.Tabero、M.Rende、J.Rodriguez、V.Pardo、J.Fernandez、J.Compan、J.Alamo、C.Perez◆AUSTRIA＝J.Gutschi、R.Sitter、D.Derflinger、N.Schlatter、F.Zeller、M.Koppensteiner、B.Blauensteiner◆TATARSTAN＝B.Nikolaev、V.Romanov、L.Yudin◆ARGENTINA＝A.Morales、O.Pinero、J.Mayoral◆U.S.A. ＝L.Baron、H.Neves、C.Batan、K.Masters、A.Smith、A.Graziosa、M.Odell、D.Karres、F.Serricchio、M.Bolton、M.Ulker、J.Casanova、M.Heuer、O.Vazquez、K.Wilcox、M.Avendano、S.Stein、A.Herman、V.Snow、T.Gorman、L.Perez、A.Angustain、G.Carpenter、R.Yamada、K.Roland、F.Peng、J.Thomas、D.Lam、G.Schneiderman、P.Murphy、M.Padilla、M.Bissen◆中国＝姜翊周、范子瑜、马晓钥◆韓国＝山野内扶、呉炯錫、金相鎬、朴素希、金南昊、李相元、李虨縞、李允範、林晶燮◆UZBEKISTAN＝I.Shodiev◆ARMENIA＝D.Sahakyan、A.Gevorgyan、I.Gunia◆NETHERLANDS＝M.Pietersma、T.Holtgrefe、E.Dijkstra、J.Postema、R.Kragt◆ROMANIA＝S.Marin、A.Micu◆SINGAPORE＝W.Lim

【初段】
◆尾張合気会＝木村心優◆曙合気道クラブ＝横山昇伍◆浦和合気会＝武井雄二、伊藤達哉◆長崎氣和会＝足立耕平、奥村弘喜、岩崎英樹◆吉照塾＝四方隆彦、梶村効成◆谷神会＝西井田卓摩、村田正樹、山田正明◆群馬合気会＝徳江俊一、下田貞紀、三島秀夫◆合心館谷本会＝ロシュ・ソフィー、G.Rivarolo◆三郷合気道会＝佐藤博幸◆合気道武友会＝大橋サトシ、久我凜太郎、盛田ちあき、渋田実、中村勝重◆合気道士道館＝佐藤和明、山口絵里、長谷川明子◆央名会子平塾蟹江道場＝伊藤太一、岡野蒼空、鈴木貴詞◆志木合気会＝古株博之、依田智文◆央名会春日井武道館＝山森柚佳◆小林道場＝M.Atanassova、B.Bader、Z.Koprivica、V.Runtic、A.Ukaj、D.Solomun、D.Prijic、U.Isakovic、D.Vujicin、L.Breka、M.Jeremic、R.Fomichenko◆尚武館＝井上拓海◆A.K.I. ＝寺本知恵、西沢智子、上野晶弘、A.Valderrama、J.Ibanez、A.Perez、D.Couttenier、P.Thomas◆祥平塾＝下川浩二、吉野華織、野村真也◆神武館＝大石茉季、竜田のどか、中谷託也、大薮秋斗、吉井遥風◆青葉塾道場＝稲木誠◆大阪合気会＝大木康正◆田辺道場＝江川主真、前田七海、野村春妃◆伊豆至誠会＝三枝和奏、吉岡栞◆京都近江合気会＝奥田道代◆楠見西合気道クラブ＝白倉成美◆日野合気会明翔＝齊藤満里奈◆八千代合気会＝濱田佳孝◆豊川合気会伊東道場＝今泉智久◆防衛省合気道連合会＝丹羽謙司、三上哲嗣◆松江道場＝塩田優真◆一宮中日文化センター合気道教室＝柴田とも乃◆大治町合気道スポーツクラブ＝近藤計太◆合気道瀬戸義塾＝工藤義弘◆B.S.T. BRITISH SCHOOL IN TOKYO＝優紀マクパーランド◆長谷川道場＝水田敦大、古畑栞里◆山口合気会中国青島道場＝孙志诚◆孝子道場＝森並美宇、森並美宙◆丹波道友会福知山道場＝綱日菜子◆河北道場＝由良康人◆奄美市合気道連盟＝本田卓士、本田啓斗◆合氣求和会前沢道場＝兵頭仲麻呂◆泉心塾＝北岡和明◆高知工業高等専門学校＝三島万利奈◆修武館＝増田康光◆合気道平出道場＝林英司◆明徳義塾高等学校合気道部＝李書涵、ホ・タイ・フン、ハ・チャン・ヒウ・ミン、レ・ハ・ヴ、スイスラパノン・ポッサトーン◆横浜市立大学＝大久保優美◆京都女子大学＝和田千佳、松本珠穂、青野寛代◆九州大学＝三隅崇史◆滋賀医科大学＝青木美智、竹内佳代、伊藤祐弥◆神戸女学院大学＝富本凜里子◆青山学院大学＝松山明日香◆東京農工大学＝大橋智洋、唐舒宜◆福岡教育大学＝安武美貴◆北海道大学＝谷岡恵利奈、星崎真由美◆日本大学合気道部＝伊藤聡美、大石紗瑛◆立命館大学＝田邊麻衣◆明治薬科大学合気道同好会＝青葉美樹子、緒方妙美、森田麻奈◆TURKEY＝N.Akarsu、O.Tanis、M.Tanis、G.Erden、S.Uzun、S.Ceylan、V.Skorokirzha、T.Aydogan、F.Aydogan、B.Demir、C.Senyuva、S.Senyuva、I.Bakiskan、S.Guruz、B.Bayraktar、S.Bayraktar、M.Baykal、B.Baykal、G.Cevik、H.Aslim、Y.Kaya、Y.Karatas、S.Purisa、C.Cakirman、M.Teksoz、O.Yesilkaya、M.Canal、A.Firat、A.Sahin、M.Ozturk、C.Bahar、Y.Bacanak、A.Karapinar、Y.Bugdayci、M.Ilker、A.Gokalp、I.Karahan、H.Kulaksiz、C.Sel、M.Oztorul、S.Aydemir、S.Cinar、Z.Algul、U.Guder、B.Kucuk、B.Can、A.Erdemli、S.Yucel、S.Esen、E.Esirgemez、M.Ozyilmaz、B.Toraman、R.Aslan、N.Demir、O.Yesil、M.Yesil、S.Nakipoglu、B.Bastas、M.Boy、U.Fidan◆GERMANY＝K.Fuchsenberger、G.Janker、S.Berner、A.Perkovic、T.Heinzmann、L.Wagner◆BRAZIL＝R.Macedo、W.Baldez、O.GilJr. 、D.Lam、O.Wargenowski、J.Fonseca、J.Heeren、L.Recuerdo、F.Batista、S.Loureiro◆PERU＝E.Bustamante、J.Cordova◆U.K. ＝A.Berthier、J.Jamrozy◆U.S.A. ＝D.Samsel、J.Labarias、J.Albertson、T.Bove、D.Cardona、J.Wozniewski、S.Ortiz、P.Dorsey、P.Goldman、C.Charles、T.Burden、W.Potts、J.Nofil、A.Hunter、J.Mcavinue、J.Burke、J.Sloat、A.Pain、B.Nevins、W.Hamilton、A.Laurick、O.Sekiguchi、J.Smart、K.Koenig、V.Gabriel、J.Hattaway、A.Kupka、A.Lord、Y.Yamauchi、L.White、M.Vire、L.Sun、B.Spitcaufsky、A.Rubesam、D.Binder、T.Gordon、J.Renell、A.Echeverria、J.Carranza、T.Madigan、O.Gonzalez、D.Sandberg◆PORTUGAL＝V.Gervasio、J.Matias、S.Handl◆BULGARIA＝M.Ficherov、B.Mollov、A.Mihaylov◆NETHERLANDS＝J.Valk、T.Jansens、G.Ramshorst◆SWITZERLAND＝M.Derron、Y.Ebnother、P.Froehly、S.Grosshenny◆RUSSIA＝E.Palyutov、S.Kushnarev、O.Krivolapov、A.Gonchar、R.Babintsev◆SERBIA＝S.Gacic◆COSTARICA＝M.Townsend、P.Tregoing◆FRANCE＝T.Seninck、B.Cluytens、M.Giardino、E.Gast、M.Roncalli、S.Modesti、M.Rovelli、W.Manzoni、S.Bertocchi、R.Ferrari、R.Solito、E.Carradore、F.Ceresa、F.Cerutti、E.Petrovich、A.Freschi、A.Meloni、A.Bottechia、A.Englaro、A.Marino、L.Ornago、U.Gambarini、I.Romeri、E.Neri、H.Tauira、P.Gaudier、J.Chansin、T.Pacomme、A.Nouveau、D.Dolinski、E.Meier、X.Olry、P.Toussaint、G.Dietrich、P.Rabiarisoa、S.Baget、F.Bardou、E.Castillon◆SLOVENIA＝J.Oblak、T.Kusterle、N.Bizjak◆BELGIUM＝M.Haelen、K.Lepeleer、T.San、B.Cardon、E.Verpuylt、S.Hezel、P.Peeters、M.Queecker◆AUSTRIA＝M.Geiger、C.Rogler、T.Freudl、R.Haider、R.Kotzmuth、J.Ladenhauf、L.Burchner、S.Ebner、M.Petschnig、J.Sipos◆POLAND＝J.Brodacki、D.Mironowicz、C.Chojnowski、K.Ladno、M.Grzeszkieiwicz、P.Orlinski◆TATARSTAN＝A.Kiyamutdinova、A.Vasilyeva◆中国＝姜华、邹子源、秦翊炜、李慎竹、骆明、邵晔、程焜、杨一琳、宋长建、张伯豪、张硕峯、黄勛、溫泉、徐俊◆韓国＝林晶燮、權祥赫、黃喆守、朴韓亏、趙允渉、金敬潤、李在浣、李珉鎬◆UZBEKISTAN＝T.Kuzmina、U.Mukhtorov、A.Abdusamatov、I.Fayzullaev◆ARMENIA＝L.Mkrtchyan、N.Khatisov、I.Avetisov◆UKRAINE＝O.Karpenko、I.Khyzhka◆ARGENTINA＝L.Troglio、M.Fukelman、A.Jaramillo、E.Maestri、V.Ruth、D.Accastello、C.Rojo、R.Hodgers◆ROMANIA＝M.Udrescu、D.Hosciuc、T.Ouatu、G.Anghelescu、A.Cerga◆SPAIN＝T.Aparici、E.Sommier、N.Ferrer、T.Sanz、A.Arevalo、M.Stan、T.Hervias、R.Bueno、E.Martinez、F.Rubial、S.Diez、E.Sanchez、A.Rojo、M.Gomez、J.Gonzalez、J.Marin、D.Calandin、J.Selas、C.Hidalgo、R.Rodriguez、F.Campos、F.Granchel、A.Pozo、J.Alfaro、F.Ruiz、F.Rodriguez、A.Valentin、S.Garcia、J.Garcia、J.Lucas、P.Fernandez、J.Bernardo、J.Torres、P.Tabero、M.Rende、J.Rodriguez、V.Pardo、D.Martin、S.Vicente◆GREECE＝A.Barbetseas◆SINGAPORE＝S.Min◆中華民国台湾＝蘇樑樺、黄清錡

富山講習会

富山合気会は６月11日、県営富山武道館にて本部道場から桜井寛幸師範を招いて講習会と演武大会を開催した。富山、石川、岐阜、愛知から９団体50名が参加。

講習会で桜井師範は、「自分の中心を作る」「相手とのつながりを大切に」「受けは意識を切らずに攻めを粘り強く保つ」と自らの受けを交え、基本の技を指導。

演武大会では師範の先生方と各団体の皆さんが静寂の雰囲気の中で演武され、合気道の魅力が沢山拝見できた大会となった。（富山合気会　島恵司）

本部だより

▽植芝充央本部道場長は、８月３日から８日まで講習会指導のためアメリカを訪問される。随行は徳田雅也本部道場指導部指導員。

▽宮本鶴蔵指導部師範は、７月20日から８月８日までドイツの講習会に派遣される。

▽佐々木貞樹指導部師範は、７月22日から29日までオランダの講習会に派遣される。

▽大澤勇人指導部師範は、７月28日から８月８日までアメリカの講習会に派遣される。

▽櫻井寛幸指導部師範は、７月28日から８月２日までレバノンの講習会に派遣される。

▽関昭二指導部師範は、７月28日から８月３日までインドネシアの講習会に派遣される。

▽伊藤眞指導部師範は、７月29日から８月２日までインドネシアの講習会に派遣される。